



4月23日

## 作兵衛翁の遺徳をしのいで

享保の大飢饉の際、後世にもみ種を残すため、自らの命を犠牲にして亡くなった作兵衛翁をしのいで、義農祭が義農公園で行われました。白石町長が「21世紀を担う子どもたちに義農精神を引き継ぎ、安心して暮らせる心豊かな、ぬくもりのある町づくりをめざしたい」とあいさつを述べた後、参加者による献花が行われました。

式典終了後は、餅まきをはじめ、町内小学生や町内団体による演芸、町内外の特産物などの即売会が催され、大勢の方で賑わいました。



5月12日

## 2007明るい人権の町づくり大会 開催

松前総合文化センターで「2007明るい人権の町づくり大会」が、大会テーマ「守ろう人権 なくそう差別」のもと、町内の職場や各種団体、関係機関などから多数の方々のご参加をいただき、盛大に開催されました。

開会行事に先立ち、コール・エーデルワイスと岡田カトレアコーラスの皆さんに人権啓発コーラスをすばらしい歌声で披露していただきました。

開会行事では、門屋愛媛県人権対策協議会松前支部長から開会の言葉、永見教育長から主催者あいさつがあり、その後、人権・同和教育の推進に尽力された赤星皓一さん（筒井）、松田正義さん（昌農内）、大政邦和さん（鶴吉）が表彰されました。続いて来賓の白石町長、重川町議会議長、住田県議会議員、野本愛媛県人権教育協議会長（代理高橋会長代行）に祝辞をいただきました。

松前中学校2年生の皆さんによる人権啓発劇「みんなの心が聞こえるよ」は、耳が聞こえにくい同級生と、その仲間たちのやりとりを通じて、「人を大切にする」とは、どういうことかを考えさせられた劇でした。

記念講演は、松本サリン事件の第一通報者である河野義行さんによる「もの言わぬ妻とともに生きる」と題した講演でした。河野さんに突然訪れた不幸な出来事や、マスコミ・警察による人権侵害について、さらにはその人の命がそこにあることだけで、どれだけ周りの人たちに力を与えているかということを語っていただきました。

最後に、松原愛媛県企業連合会松前支部長が閉会のことばを述べて、盛会のうちに終了しました。

5月13日

## 水防訓練を実施（消防団）

梅雨の時期を迎え、万一の水害のときスムーズに水防活動を行えるように、また、水防技術の向上を目的に重信川堤防河川敷で、松前町消防団員など約200名が防災エキスパート（国土交通省）の皆さんの指導のもと、積み土のう工法などの水防訓練を実施しました。

水害から身を守るため、一人ひとりが水害に対し関心を持ち、いざという時に備えて日頃の準備が必要です。私たちにできることから始めましょう。

